

当園ではこの度、令和2年度の幼稚園学校評価として、保護者アンケート及び、教職員自己評価・学校関係者評価を実施いたしました。教職員自己評価では、教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を客観的に振り返ることにより、自身や園全体を見つめ直す非常にいい機会となりました。

今年度の保護者アンケートの結果及び、教職員自己評価の結果を活かし、来年度以降の更なる教育活動の充実、教職員の資質向上に努めていきたいと考えております。

I. 教育目標

<p>目指す園児像</p> <p>心身ともに明るく健康な子ども 何事にも興味を持ち、創造性豊かな子ども 誰とでも遊べる思いやりのある子ども 正しい考えで行動できる子ども</p> <p>具体的な教育目標</p> <p>①基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培います。 ②人を尊重し、助け合い、すすんで他の人の幸せのために奉仕する生き方を学びます。 ③自然などと親しみ、驚きや発見などの感動を大切にし、豊かな心情や思考力の芽生えを培います。 ④言葉を交わす楽しさを知り、喜んで話したり聞いたりする態度を養います。 ⑤さまざまな体験を通して、豊かな感性を育て、創造性に富んだ生活を営む基礎を培います。</p>

II. 今年度の重点目標

<p>昨年度の学校評価で、抽出された「課題」の解決をするとともに、関目聖マリア幼稚園をより良い幼稚園にしていく為に、現状考えられる課題を年初に抽出し、それらの課題の達成に向けて年間で計画を立てて取り組んでいく。</p>

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1 ＜幼稚園＞ （教育内容） 子どものあいさつ	なぜあいさつが大事なのかを教職員全体で共通理解し、子ども達に伝える。	B 保育者から積極的に子どもの目を見て挨拶するのを始め、その他の取り組みとして、入園後の1番に挨拶の大切さを話すことや、名前を呼んで挨拶をする、できた子に対してたくさん褒める等、職員がそれぞれの取り組みを創意工夫した。それぞれの取り組みに対して成果の度合いを確認し、話し合いを実施し、検討する。
2 ＜幼稚園＞ （教育内容） 教育理念の発信	園の理念を園長先生からの朝礼のお話でクラスで具体的に話したり、子ども達へ発信していく。	C 宗教を概念的に説明するのではなく、理解が深まっていく事によって時事の内容に宗教の心を絡めて具体的に話をする事が出来るようになった。朝の会で実施している「生活習慣の話」のように「宗教の話」を取り入れるなど、カトリックの考え方に触れる機会を更に増やしていく。
3 ＜幼稚園＞ （教職員の質の向上） 保育レベル向上	自分のタレントを生かした保育の質の向上をつなげるため、一人ひとりが責任を持って行動する仕組みを作り、スキルアップを図る。	B 職務担当が出来たことで、一人ひとりが役割を考え、仕事に取り組もうとする姿が見られた。取組初年度という事もあって連携がうまくいかない部分もあった。後手になりがちな環境・自然・食育についても取り組めるようになっていった。分野毎の活動報告を月の職員会議で行い、進捗を確認することでみんなで考えながら進めていけるのではないかと考えている。

令和2年度 学校評価結果報告書

学校法人 大阪聖マリア学園
関目聖マリア幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況
4	<幼稚園> (教職員の質の向上) 保護者との連携	園の様子をより保護者に知ってもらうために動画配信や各クラス担任が定期的にクラスの様子や計画を配信する。	B 感染症対策で参観等を行えない状況で、行事の姿や遊びの状況や体操の様子を学年ごとに配信して伝えた。保護者アンケートにはもっと動画配信の機会を増やして欲しいという要望もあったので行事だけでなく、普段の様子も動画配信することを検討する。
5	<幼稚園> (保育内容) 保育カリキュラムの充実	生活の一部を一緒に過ごせるような縦割りの保育を取り入れ、こひつじとの交流も検討する。	C 学年末に縦割りの保育やお別れ会を実施した。また、年少組とこひつじの2才児との交流会を行った。年間を通してコロナ禍において実施は難しかった。定期的に多くの実施できるようなスケジュールリングを検討する。
6	<こひつじ> (教職員の質の向上) 教職員体制の充実	保育の質や方法を各保育士任せにするのではなく、根幹となるものを学年ごとに設定する。	C コロナウイルスの影響もあって計画通りに進めることは難しかったが、これまでとは違う保育を実施したことで、見直しを行うことが出来た。教職員間得手不得手があり、業務が偏ることが見受けられたので、標準化するための取り組みや能力を育てる仕組み作りが必要である。研修受講した内容をレポート提出するだけでなく、会議の場で共有することを検討する。
7	<こひつじ> (安全管理体制の強化) 教職員体制の充実	感染症対策の仕方やかかった時の対応方法などを話し合い、職員間で共通理解していく。	B 感染症対策において換気や消毒、検温といった保育環境の整備だけでなく、それを保護者に発信して安心感を与えることにも注力した。行事のやり方を繰り返し話し合ったり、日々の保育の中に試行錯誤して最適な保育が出来るように取り組んだ。感染症に対するマニュアル作成を検討する。
8	<こひつじ> (安全管理体制の強化) 保護者への情報提供	園外活動時の事前の安全確認と職員間での情報共有、職員体制の役割分担を実施する。	B 園外活動はコロナウイルスの影響で回数が減少したが、安全第一を考え、職員を増やして対応した。保護者対応においては市からの通知をタイムリーに知らせることで対応できたように思う。この一年間で様々な事を話し合ったり実行したので、何が重要事項なのかを整理して共有する必要がある。
9	<こひつじ> (保護者支援) 保護者への情報提供	保護者の相談内容に真摯に向き合い、丁寧に引継ぐことで保護者の抱える不安の解消につなげていく。	B 個人面談の対応は保育者間で事前打ち合わせをすることで、伝えるべきことの優先順位を話し合い、相談事に関してはそれを持ち帰ってまた話し合い、園としての考えを回答した。保護者とのコミュニケーションが難しくなっている状況の中でレイザーキッズや動画配信などで十分な情報提供を試みる。
10	<こひつじ> (保育の質の向上) 保育レベルの向上	保育や担当役割を策定し、意見を前向きに捉えて実行できる仕組みを作る。	B クラスでの担当役割と、全体での担当役割を策定し、随時会議で反省し改善して実行するというPDCAサイクルを定期的に回すことでよりよい保育の提供を目指すことが出来た。役割分担の方法や内容に関しては円滑な運営と人材育成の両面から検討する。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

Ⅳ. 今後取り組むべき課題

1	理念の浸透	幼稚園のビジョンを可視化し、共通の目的に向けて、全教職員が誇りを持って教職員全員が進む
2		月に一度の神父様のお話を全員で分かち合い、教職員一人ひとりが子どもたちに、「神様のおはなし」ができるようになる
3	保育・教育の質の向上	「新しい生活様式」の中の子どもの育ちをよく観察・検証し、日々の教育・保育の見直しを行う
4	組織体制の構築	各分掌を明確化し、皆がリーダーシップを発揮する
5	保育環境の整備	「愛される」ことの心地良さを子どもたちが感じ、その愛を基盤に安心して行動を起こし、様々な活動にチャレンジできる環境を整える
6	情報発信	園舎に入っただけでない今だからこそ、園での様子や行事などを積極的に動画配信し、保護者の方に対し保育の見える化をはかる
7	安全対策	コロナ感染防止を含む園における様々な場面の安全管理についてフローチャートを作成し、全職員の目に入るところに置いておく。またフローチャートの内容は定期的に見直しを行う
8	危機管理	危険な場所がないか、乳児と幼児の職員で互いに検証しあう
9	食育	プランター菜園などを通して野菜の育ちに興味を持ち、収穫をすることにより感謝をもって日々の食事が頂けるようにつなげていく
10	地域への発信	掲示板に毎月の子どもの作品を掲示し、また園内での様子を写真などを使ってお知らせする。コロナ感染の様子を見ながら、地域に向けたコンサート等も少人数制で開催する

Ⅴ. 学校関係者の評価

自己評価・保護者アンケートを基に関係者評価を実施

- ・自己評価についての取り組み・進捗状況は概ね適切であると考えられます。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を真摯に行いながら、新しい生活様式に合わせた保育内容の見直しも行き、さらなる質の充実を図る姿勢が伺えました。
- ・<幼稚園>（教職員の質の向上）では、新しい保育者が増えた中でも、無理なく保育内容の計画をすすめ、新人の職員が達成感を持ちながら取り組む姿が見られた。また<幼稚園>・<こひつじ>ともに職員間で子どもの姿や保育の内容について話し合う姿があり、職員が一人で悩みを抱え込むことなく、お互いに気さくに話し合い相談できたことは（教職員体制の充実）の上でとても望ましいことであると考えられます。
- ・昨年度は新型コロナウイルスの影響により、これまでの園行事の行い方や取り組みが大きく変化した中で運動会の分散や参観の変わりの動画配信などコロナ禍でも保護者、園児の気持ちを汲み取る対応には共感しました。
- ・今後の取り組むべき課題での⑨食育⑩地域への発信は是非とも実施し、活動の習慣化を目指して欲しいと思います。
- ・取り組み内容の中で、1人1人の先生が強い意識を持ち、園児に寄り添っているのが達成につながっていると思います。
- ・この時期なのでなかなか取り組み達成が難しいと思いますが、1つ1つ目標に向かって少しでも達成できる様に頑張ってください。